

報道各位

新潟市新津美術館

新潟市新津美術館企画展
生誕140年 ユトリロ展 「白の時代」を中心に
開催について（お知らせ）

新潟市新津美術館では、企画展「生誕140年 ユトリロ展 『白の時代』を中心に」を開催いたします。多くの方々にご観覧いただきたく、取材・広報にご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 展覧会名 生誕140年 ユトリロ展 「白の時代」を中心に
- 2 会 期 令和5年7月1日(土)～8月27日(日)
- 3 会 場 新潟市新津美術館
- 4 観 覧 料 一般 1,200円、他
- 5 そ の 他 詳細は別紙プレスリリース参照
- 6 問合せ先 新潟市新津美術館

展覧会担当：斎藤、石月

広報担当：山岸、石月

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1

TEL. 0250-25-1300

FAX. 0250-25-1303

UX新潟テレビ21開局40周年

生誕140年 ユトリロ展

—「白の時代」を中心に—

Exposition Utrillo 140ème anniversaire de sa naissance



《可愛い聖体拝受者》、トルシー＝アン＝ヴァロアの教会（エヌ県） 1912年頃 ©Hélène Bruneau 2023

「白の時代」の傑作を30点以上含む約70点を展示

会 期 2023年7月1日（土）～8月27日（日）

会 場 新潟市新津美術館 〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1

展覧会名 生誕140年 ユトリロ展 「白の時代」を中心に

開催趣旨

20世紀前半、哀愁漂うパリの情景を描いて一世を風靡した画家モーリス・ユトリロ（1883～1955）。生まれ育ったパリの街並みや酒場、教会などを写し取った油彩画を生涯に渡って制作し続けました。本国では1928年にレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章を受章し、日本国内でも数多くの個展が開催されています。

本展では日本国内のコレクション約70点から、アルコール依存症の治療のために絵画制作を始めた「モンマニーの時代」、卓越した白壁の描写が花開き人気の高まる「白の時代」、色使いが豊かに変遷する「色彩の時代」、そして晩年の作品までを展示。あわせて、同じく画家であった母シュザンヌ・ヴァラドン（1865～1938）の作品も展示し、画家ユトリロ誕生の過程へ迫ります。19世紀末から20世紀初頭、芸術の都パリの激動の時代に、孤独に画布へと向き合い続けた画家ユトリロの生涯をめぐる展覧会です。

休館日 月曜日（ただし7月24日、8月14日は開館）
開館時間 午前10時～午後5時（観覧券販売は午後4時30分まで）

観覧料 当日券 一般1,200（1,000）円 大学・高校生1,000（800）円 中学生以下無料
※有料20名以上は（ ）内の団体料金
※新潟市美術館の企画展観覧券を持参の方は団体料金（あっちも割）＊
※新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券を持参の方は団体料金＊
※2度目はオトク！リピーター割引
（本展半券の提示で2回目以降の本展が団体料金でご覧いただけます）
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料（手帳をご提示ください）
＊1枚につき1回限り1年間有効

前売券 一般1,000円（一般のみ取扱）※販売期間 5月13日（土）～6月30日（金）
取扱先：セブン-イレブン、ローソン、インフォメーションセンターえん
（メディアシップ1F）、新潟伊勢丹、シネ・ウインド、アソビュー！、
新潟市美術館、新潟市新津美術館

主催 新潟市新津美術館、U X新潟テレビ21
共催 新潟日报社
後援 一般社団法人 新潟・フランス協会
企画協力 IS ART INC.



MAURICE UTRILLO モーリス・ユトリロ 1883-1955

- 1883** パリ モンマルトルに画家シュザンヌ・ヴァラドンを母として生まれる
- 1904** アルコール依存症の治療のため、パリのサン＝タンヌ精神病院に入院する
医師と母の勧めにより絵を描き始める
- 1905** パリ近郊のモンマニーに祖母とともに暮らす
- 1909** 作品が画商のルイ・リポードに買い取られる
- 1912** この頃からアルコール依存症の治療のため、入退院を繰り返す
- 1913** パリのウジェーヌ・ブロン画廊で初の個展開催
- 1914** 母ヴァラドンがユトリロより3歳年下の友人アンドレ・ユッテルと再婚する
ユトリロの絵の売り上げは、父母の贅沢のために使われた
- 1928** レジオン・ドヌール勲章を受章する
- 1935** ベルギーの銀行家の未亡人リュシー・ヴァロールと結婚
フランス南西部のアングレームに新居を構え、
《la Bonne Lucie》（優しいリュシー）と名付ける
- 1938** 母ヴァラドン死去。ユトリロは葬儀に参列できないほど悲しみに暮れる
- 1955** 南西フランスのダスクにて死去
モンマルトルのサン＝ヴァンサン墓地に埋葬される

関連事業 ※内容は変更する場合があります。最新の情報はWebサイト等でご確認ください。

● **講演会「ユトリ口とその時代」 講師 松沢寿重(新津美術館 館長)**

[日 時] 7月2日(日) 午後1時30分～(90分程度)

[会 場] 新津美術館 市民ギャラリー [参加費] 無料

[定 員] 先着50名、申込不要

● **担当学芸員による解説会**

[日 時] 7月15日(土)、8月20日(日) 午後2時～(各回30分程度)

[会 場] 新津美術館 展示室 [参加費] 無料(要当日観覧券)

[定 員] 各回先着30名、申込不要

● **ボランティアによる絵本の読み聞かせ**

新津美術館ボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせを行います。

[日 時] 8月5日(土) 午前11時～、午後1時30分～(各回30分程度)

[会 場] 新津美術館 市民ギャラリー [定 員] 各回先着50名、申込不要 [参加費] 無料

● **かんたん絵本づくりワークショップ【おとな編 7月30日・こども編 8月19日】**

色紙や色鉛筆を使って、オリジナルの絵本を作成します。

[日 時] 【おとな編】 7月30日(日)、【こども編】 8月19日(土)

各回 午後1時30分～(2時間程度)

[会 場] 新津美術館 レクチャールーム [参加費] 300円(材料費)

[対象年齢]

【おとな編】高校生以上

【こども編】小学3年生以下は保護者同伴(子と保護者で一冊)、4年生以上は一人一冊

[定 員] 各回10名 ※要事前申込(応募多数の場合抽選)

[申込期間] 【おとな編】7月24日(月)まで 【こども編】8月14日(月)まで

[申込先]「新潟市かんたん申込」からお申し込みください。

● **#ユトリ口展新潟 SNS(Instagram、Twitter)キャンペーン**

ポストカードや展覧会グッズがもらえるキャンペーンを実施!

[実施期間] 7月1日(土)～8月13日(日)

※詳細は新津美術館Webサイトか、公式SNSアカウント(@niitsuartmuseum)をご確認ください。

新津美術館のやさしいサービス

■ **月曜開館**

平日の月曜日でも開館します。

今回は、7月24日(月)、8月14日(月)です。

■ **こどもタイム**

会場に音楽が流れるので、会話を楽しみながら鑑賞できます。

会期中の第1・第3の木曜日 午前10時～午後1時
(7月6日・20日、8月3日・17日)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見合わせる場合があります。

■ **託児サービス** 鑑賞中、専門スタッフがお子様をお預かりします

日程 展覧会会期中の毎月第2・第4木曜・土曜日 午前10時から12時

対象 生後6ヶ月から就学前のお子様

定員 1名から3名程度、先着順

申込 利用の3日前までに新津美術館に電話(0250-25-1300)でお申し込みください



新津美術館の交通案内

● JRをご利用の場合 古津駅から徒歩約25分、新津駅からタクシーで約15分、矢代田駅から徒歩約35分、矢代田駅からタクシーで約5分。

● お車をご利用の場合

新潟方面から 国道49号線 茅野山ICを国道403号線 加茂・新津方面へ (新潟駅から約20km、約45分)。

高速道・磐越自動車道 新津ICから車で約20分、新津西スマートICから約15分。

● バスをご利用の場合

JR新津駅東口バス停から、秋葉区バスに乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。

もしくは新潟交通バス「矢代田經由白根・潟東行き」に乗車約12分、「新津美術館入口」で下車、徒歩5分。

JR矢代田駅バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行き」に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、

徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「新津行き」に乗車約3分、「新津美術館入口」で下車、徒歩5分。

本展では、ユトリロの画業を「モンマニーの時代」「白の時代」「色彩の時代」そして「晩年」の4章に区分し、日本国内のコレクション約70点により展覧します。

モンマニーの時代 **Périod Montmagny**

ユトリロは画家シュザンヌ・ヴァラドンを母として、1883年パリのモンマルトルに生まれました。自由奔放だったシュザンヌは、祖母のマドレーヌにユトリロを預け、自身は数多くの芸術家たちと浮名を流します。パリ近郊のモンマニーで祖母とともに暮らすユトリロは、幼い頃より飲酒を覚えました。

1904年、20歳の頃にアルコール依存症の治療のために絵を描くことを医師から勧められます。絵筆をとったユトリロはたちまち才能を開花させ、画家としての人生が始まるのです。

この頃の、やや暗い色調で作品を描いた時期は「モンマニーの時代」と呼ばれます。

(左) モンマルトルのサン＝ピエール広場から眺めたパリ 1908年頃

(右) 12歳ころのユトリロと母シュザンヌ・ヴァラドン



白の時代 **Périod Blanche**

ユトリロの作品群の中で最も評価され、またとくに人気が高いのが「白の時代」の油彩画です。この時期の彼は、絵の具に石膏や砂などを混ぜてリアルな質感表現を追求していました。アルコール依存は相変わらずのままでしたが、技術、意欲の両面において最も制作が充実していた時期でもあったのです。

鎧戸が閉じられた白壁の建物や、ひと気の無い路地の風景は深い叙情を誘います。



見どころ

本展では、「白の時代」の作品を約30点展示。ユトリロの傑作の数々をご堪能ください。

(左) モンマルトルのノルヴァン通り 1910年頃 (右) セルネーの城の入り口、サノワのマジャンディ通り (ヴァル＝ドワーズ県) 1913年

色彩の時代 **Périod Colorée**

画家としての評価が確立したユトリロは、1928年に国家勲章であるレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章を受けました。

この時期の作品の多くは、彼の心の有り様を反映するように色彩豊かになり、建物の窓が開かれた状態で描かれています。

1935年にベルギーの銀行家の未亡人リュシー・ポーウェルと結婚し、フランス南西部のアングレームに移った後も、ユトリロは絵画制作を続けます。

ポワシエの教会 1935年頃



晩年 **Dernières Années**



晩年には、画商や周囲の人々の求めに応じて、輝かしい「白の時代」の作品を再現して描くこともありました。彼が生涯を通じて描き続けた、どこか物寂しいフランスの風景画は、画家が幼い頃から心に抱えていた孤独を映し出していたのかもしれませんが。

ユトリロは1955年、フランスのダクスで亡くなりました。本展では1952年までの作品を展示します。

サシャ・ギトリ監督の映画「もしパリが我々に語りかけていたら」(1955)に出演した時のユトリロ

©Hélène Bruneau 2023

■展示室内撮影OK！ ※一部作品を除く



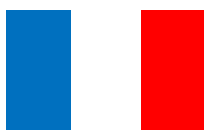
エントランスにはフォトスポットも特設！

※三脚、フラッシュ、自撮り棒の使用はご遠慮ください。

※撮影禁止マークの掲示がある作品は、撮影できません。

※撮影時にはシャッター音等、周りのお客様へのご配慮をお願いいたします。

■「Cafe 2F 新津美術館」期間限定メニュー



「生誕140年 ユトリロ展」会期中限定で、フランス国旗をイメージしたクリームソーダを販売！（予定）
展覧会と合わせて、ぜひご賞味ください。

■ミュージアムショップ 展覧会限定グッズ

展覧会図録に加え、ポストカードやアクリルチャームなど、展覧会会場でしか買えない限定グッズをお見逃しなく。

広報用画像&読者プレゼント用招待券申込み

新津美術館 E-mail : museum.ni@city.niigata.lg.jp FAX : 0250-25-1303

本展覧会の作品画像データをご希望の方は、必要事項をご記入の上、新潟市新津美術館までFAXまたはメールでお申込みください。

※お手数ではありますが、基本情報確認のため、必ず校正をお寄せください。

※掲載誌が発行されましたら、**2部 提供ください。**

※読者プレゼント用招待券は**原則、画像掲載での展覧会紹介1件につき、5組10名様分**にてご提供致します。プレゼントの受付、発送は貴社にてご対応ください。

貴社名

メディア・部署

ご担当者名

ご住所

〒

TEL

FAX

E-mail

読者プレゼント用招待券

枚 希望

※希望の場合のみ

希望画像データ（□に✓を入れてください）*この他の作品画像も提供可能です。ご希望の場合はお申し出ください。
※画像は本展覧会の広報用として、会期終了までの使用に限らせていただきます。※画像のトリミングはできません。

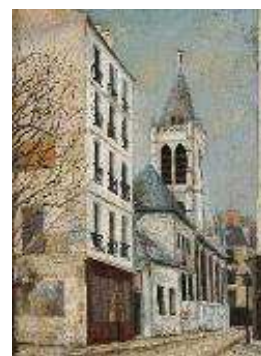
※必ずキャプション及びクレジット**©Hélène Bruneau 2023**を併記してください。



《可愛い聖体拝受者》、
トルシー＝アン＝ヴァロア
の教会（エヌ県）1912年頃



ラパン・アジル、モンマルトルの
サン＝ヴァンサン通り
1910-12年頃



パリのサン＝セヴラン教会
1910-12年頃



モンマルトルのサン＝ピ
エール広場から眺めたパリ
1908年頃



モンマルトルのノルヴァン通り
1910年頃



大聖堂、ランス（マルヌ県）
1908-09年頃



UX新潟テレビ21 開局40周年

生誕140年 ユトリロ展

「白の時代」を中心に

Exposition Utrillo 140ème anniversaire de sa naissance principalement L'Époque Blanche

2023.7.1 [SAT] - 8.27 [SUN]

- 開館時間 午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館。ただし7月24日、8月14日は開館)
- 観覧料 《当日券》一般1,200(1,000)円 | 大学・高校生1,000(800)円 | 中学生以下無料

※()内は有料 20名以上の団体料金
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(手帳をご提示ください)
※2度目はオトク! リピーター割引(本展チケット半券の提示で、本展2度目の観覧が団体料金)
※2館見るとオトク! あっちも割(新潟市美術館の企画展観覧券を持参の方は団体料金)★
※新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券を持参の方は団体料金★
★1枚につき1回限り1年間有効



《前売券》一般1,000円(一般のみ) 《発売期間》5月13日[土]から6月30日[金]まで
《前売券取扱所》セブン-イレブン(セブンコード:100-878)、ローソン(ローコード:33789)、新潟伊勢丹、インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)、シネ・ウインド、アソビュー!、新潟市美術館、新潟市新津美術館



NAM
NITSU ART MUSEUM

新潟市新津美術館

主催 | 新潟市新津美術館、UX新潟テレビ21 共催 | 新潟日报社
後援 | 一般社団法人 新潟・フランス協会 企画協力 | IS ART INC.

UX新潟テレビ21 開局40周年

生誕140年 ユトリロ展

「白の時代」を中心に **Maurice Utrillo**

20世紀前半、哀愁漂うフランスの風景を多く描いた画家モーリス・ユトリロ(1883-1955)。生まれ育ったパリの街並みや酒場、教会などを題材にした油彩画を、生涯に渡って制作し続けました。

2023年はユトリロ生誕140年の記念すべき年です。本展ではとくに人気の高い「白の時代」の油彩画を中心に、同じく画家として活躍した母シュザンヌ・ヴァラドン(1865-1938)の作品を加え、日本国内のコレクション約70点から、ユトリロの生涯を辿ります。

アルコール依存症の治療をきっかけに絵画制作を始めた「モンマニーの時代」のやや暗い色調の風景画にはじまり、彼の代名詞ともいえる白壁の表現が特徴的な「白の時代」における傑作の数々、色使いが豊かに変化する「色彩の時代」、そして晩年の作品までを幅広く展示。ユトリロが独自に生み出した、深い叙情を誘う画風を堪能ください。

【関連イベント】 ※最新の情報は当館Webサイトをご確認いただくが、お問合せください。

●講演会「ユトリロとその時代」

講師 松沢寿重(新潟美術館 館長)
日時 7月2日(日) 午後1時30分～(90分程度)
会場 新潟美術館 市民ギャラリー
定員 先着50名 申込不要、聴講無料

●担当学芸員による解説会

日時 7月15日(土)、8月20日(日) 午後2時～(各回30分程度)
会場 新潟美術館 展示室
定員 先着30名 申込不要、聴講無料、要当日観覧券

●絵本の読み聞かせ

読み手 新潟美術館ボランティアスタッフ
日時 8月5日(土) 午前11時～、午後1時30分～(各回30分程度)
会場 新潟美術館 市民ギャラリー
定員 先着50名 申込不要、聴講無料

●かんたん絵本づくりワークショップ

講師 新潟美術館学芸員
日時 **《おとな編(高校生以上)》** 7月30日(日)
《子ども編(中学生以下とその保護者)》 8月19日(土)
各回 午後1時30分～(約2時間)
会場 新潟美術館 レクチャールーム
定員 各回10名 要事前申込(応募多数の場合は抽選)
参加費 300円(材料費)
申込期間 **《おとな編》** 7月20日(木)まで
《子ども編》 8月10日(木)まで

※詳細、お申込方法は当館Webサイトをご確認ください。

NIIGATAアートのリンク共催 「華麗なるパリの〇〇な話」

新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館、新潟市美術館、新潟市新津美術館の学芸員によるリレートーク! パリをめぐる時間旅行をお楽しみください。

日時 7月29日(土) 午後2時～(約2時間)
会場 新潟美術館 レクチャールーム
定員 先着50名 申込不要、聴講無料

cafe2F 新潟美術館

《Instagram》@cafe2f

営業時間 午前10時30分～
午後4時30分(不定休)

ユトリロ展限定メニューをお楽しみいただけます。



#ユトリロ展新潟
Twitter・Instagramにて
プレゼントキャンペーン実施!

(三脚、フラッシュ)
の使用不可

実施期間 7月1日(土)～8月13日(日)

※詳細は当館Webサイト、公式アカウント
@niitsuartmuseumでお知らせします。



●新潟市新津美術館の展覧会

同時開催 コレクション展II「白のエスプリ」
7月1日(土)～8月27日(日)
次回展覧会 ブラチスラバ世界絵本原画展
絵本でひらくアジアの扉
9月9日(土)～11月5日(日)

●新潟市美術館の展覧会 TEL.025-223-1622

富井大裕 みるための時間
6月6日(火)～7月17日(月・祝)
「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容
瀬口修造・阿部展也・大辻清司・牛嶋茂雄
7月29日(土)～9月24日(日)

1.晩年のユトリロ、ムーラン・ドラ・ギャレットの前に 2.モンマルトルのサン・ピエール広場から眺めたパリ 1908年頃 3.モンマルトルのノルヴァン通り 1910年頃
4.セルネーの城の入り口、サノフのマジャンディ通り(ヴァレドワーズ線) 1913年 ©Hélène Bruneau 2023

【交通のご案内】

《JR》●JR古津駅から徒歩約25分/JR矢代田駅から徒歩約35分。●JR新津駅からタクシー約15分/JR矢代田駅からタクシー約5分。
《お車》●新潟方面から、国道49号線を国道403号線加茂・新津方面(新潟駅から約20km、約45分)。●磐越自動車道、新津ICから約20分/新津スマートICから約15分(新津西スマートICは会津若松方面の出入りはできません)。※無料駐車場有(250台)。新潟県立植物園無料駐車場も利用可能。
《バス》●JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「矢代田経白根・潟東行」に乗車約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。●JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行」に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「新津駅行」に乗車約5分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。



新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
(花と遺跡のふるさと公園内、新潟県立植物園となり) TEL.0250-25-1300

《URL》https://www.city.niigata.lg.jp/nam/ 《Facebook》《Twitter》《Instagram》@niitsuartmuseum

新型コロナウイルス感染防止のため、ご理解とご協力をお願いします。



【新潟美術館のサービス】

●子どもタイム

会場に音楽が流れるので、会話を楽しみながらご鑑賞できます。

日時 会期中の第1・3木曜 [7月6日・20日、8月3日・17日]
午前10時～午後1時

●月曜開館日

7月24日と8月14日の月曜日は開館します。

●託児サービス(無料)

専門スタッフがお子様をお預かりします。

対象 生後6ヵ月～就学前のお子様(定員1～3名、先着順)
申込方法 利用3日前までにお電話 [0250-25-1300] で
お申込みください。

《鑑賞のための託児サービス》

第2・4木・土曜 [7月8日・13日・22日・27日、8月10日・12日・24日・26日]

時間 午前10時～12時

《イベント参加のための託児サービス》

7月2日・15日・30日、8月5日・19日・20日

時間 イベント開始時間の30分前～終了30分後

